

八幡地区まちづくり懇話会会議録

と き：平成30年11月19日（月）午後7時～午後8時45分

ところ：八幡小学校 体育館

出 席：

（市 側） 市長、総務部長、市民生活部長、福祉保健部長、経済部長、建設水道部長、
教育次長、消防長

（事 務 局） 秘書広報課長、企画財政課長

（八幡地区） 68名

進 行（秘書広報課長）

1. 市長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 前回（平成28年度）出された質問等に対するその後の対応状況報告（総務部長）
4. 市政報告（総務部長、教育次長、消防長）

総合計画など主要施策の進捗状況について「まちづくりレポート」に基づき説明を行う

5. 意見交換会

意見①

世界の中で日本人は深刻な状態になっていると知った。大震災で日本では約2万人亡くなったが、スマトラ大震災では22万人以上の方が亡くなり、スマトラのリゾート地では約500人の日本人がまき込まれた。亡くなった日本人の死体だけは腐らなかったようだ。現在、飲んでいる薬そのものが石油由来のもので、調味料一つ取っても化学物質でできている。認知症が増えているのも、脳の中に石油が詰まっているらしい。結果的に認知症は460万人、予備軍をいれると1千万人いると言われる。宇佐市は前から健康づくりや病気の予防には取り組んでいるが、県下では医療費が安いと言えばまだ高い。健康づくりに取り組み予防の観点から医療費の削減に取り組んでほしい。県も国保に参加したが、市や県で国保を支えることができると思えない。国が責任を持ってやるように要望をお願いしたい。また、国内の農産物を実情にあわせて安心安全なものを作る、意欲的な農業者への支援をお願いしたい。

回答

健康づくりということでお答えさせていただきます。市でも健康づくり戦略を立ち上げ市民の健康づくりについて、様々なところで取り組みをしています。各地区の区長や健康推進員などにご協力をいただいています。国保は一人当たりの医療費が上がっており、県下でも半分より上にある状態なので、今後も健康づくり事業に取組み、医療費の抑制をしたいと思います。宇佐市では生活習慣病、食事のとり方等の問題により高血圧や糖尿病、

腎臓病などの方が多いためのことですので、そちらのほうにも取り組んでいきたいと思っています。

回答

近年、食に対する安全については重要視されていると思います。宇佐ではブランド認証を行っており、この中で原料については、宇佐産の安全、安心な原料を使っているかなど審査の対象となっており、その他、GAP、農産物の生産工程から出荷まで消費者まで届くまでの管理がどのようになされているか、こういったことの情報提供されることが求められています。なかなか宇佐市だけの力だけではカバーできないので、大分県と一緒に農協などを巻き込みながら取り組みをはじめている所です。このようなことの支援を重要視する中で宇佐市の農業の発展、規模拡大、集約農業の推進など地域地域にあった農業をいかに取り込みながら進めて行くかを考えていきたいと思っています。

意見②

八幡小学校から南の教覚寺手前のフラワーロードの交差点までの市道、約5m、延長戦で1kほどの道は小学生が通学で通る。日頃から子どもが危ないと話があり、PTAや学校も周知している。道路を広くし歩車道を分離したらいいが、道路の路肩を利用して一部カラー舗装して歩道的な部分と車道的な部分を作れば、ドライバーが児童を見つけた時に確認しやすく、親にとっても安心だと思う。

回答

歩道の設置の件ですが、道路の路肩にカラー舗装して歩道を広くするという形なら予算もあまりかからないと思いますので、持ち帰って現地を確認し協議させていただきたいと思っています。

意見③

団地が200軒弱ある。団地から下森山に抜けていく市道の横に白線が引かれているが、あるかないかわからないくらい消えている。引き直してほしい。

回答

下森山の住宅地には小学生が多いということなので、対応できる場所はすぐにしたいのですが、まずは現地を確認したいと思いますので、ご案内をおねがいたします。

意見④

以前の地域の市道は穴だらけだったが、埋めていただいて安全性を感じている。中津市や別府市はフィックスマイストリートという地域の道路事業を地図に記しをつけて写真を撮って市役所に送るというアプリを利用している。それに対して別府市や中津市は道路河川課がコメントを送って早急に対応している。市民と行政が協力して道路の破損や樹木により信号などが見にくい、外灯の故障など、地域やまちの課題をスマホを使って解決、共有していくアプリなのです。先ほどの課題もこれを利用すれば把握できるのではないかと

思う。

回答

スマホ等で写真を撮っていただき送れば、補修等はすぐに行っているところですが、アプリについては行きついていませんので、ご提案は検討させていただき、実現可能であればすぐに対応させていただきたいと思えます。

意見⑤

大変な数の野良猫がおり、生活環境課から捕獲器を借りて保健所に引き取ってもらっていた。ところが、今年になってから、捕獲器の貸し出しができなくなった。困り、いい方法がないか聞いたら、猫を捕まえて不妊手術をして放すと段々数が減って行くと言われた。動物愛護団体があり、捕まえることは虐待にあたるのはわかるが、猫で近所に迷惑をしている人がたくさんいる。これをどのようにしていったらいいか、対応に困っている。野良猫のことと言われるかもしれないが、実際には大変深刻な問題なのでいい知恵があれば聞かせてほしい。

回答

野良猫に関して捕獲器を貸し出していましたが、動物愛護法という法律があり、環境省で、県に持って行った場合には引き取りを拒否するようという通達もでており、捕獲器で捕獲者を手助けし積極的に捕獲を促すことは如何なものかということで捕獲器の貸し出しを中止しています。苦情があった場合、超音波による猫避け機を貸し出し、対応が難しい場合は保健所と協議を行っているところです。市としては、保健所、獣医師会と連携して、まずは捨てさせない、自然繁殖をおさえる適正な管理を行うため、野良猫に対して避妊の補助をしています。緊急な場合、殺処分はありますが、啓発をして繁殖を抑える方針で行っていきたいと考えています。

意見⑥

異常気象で大雨や洪水がひどいが、市役所はあのようなところに建てて危機管理ができているのか。

回答

市役所建設についてはこれまで様々な検討を行ってきました、市民の皆様が組織する市民委員会でも意見をいただけてきました。市役所は浸水区域には入っておりませんし、新庁舎は今の地盤より約50cm近く高くしています。基本的にあの位置で十分大丈夫ということで建設していますので、ご安心いただきたいと思います。建設が随分進んでおり、来年の10月には完成ということ進めているところですのでご理解お願いいたします。

意見⑦

平和ミュージアムの建設がされているが、今後の流れを教えてください。

回答

平和ミュージアムの今後のスケジュールですが、本体工事については1回目の入札は不調ということで今現在、設計の調査をかけているところです。スケジュールについてはその調査を基に継ぎに入札に向けてどう行っていくか、検討を加えながら次の入札にむけていくようにしています。その間については遺構群の整備については計画通りに進めて行っています。

意見⑧

野良犬とかアライグマの問題などもそうですが、各部長の答弁をお聞きしますと法律がどうのこうのとか目の前におきている現象を理由にしていますが、私は深刻な現象をいつたのですが、各部長はその問題点を認識して、法律は危険運転防止法もそうですが、重大事件が起きてから変わると言うことが多く、現実には、野良猫が増えたらどうしたら抜本的に解決できるか、大きな問題ほどそこに集中して真摯に取り組んでもらわないと現状は変わらない。自然に減るなんてあり得ない。そこは真剣に考えていただきたい。（意見）

意見⑨

私はCKBの患者でレベル4のBを進んでいる状態だ。市役所でCKB患者を集めて勉強会や栄養指導などの講座をしてきていたが、職員が異動したら実施されていない。人が異動したら施策が変わるのかと私たちの中では思っている。

回答

市民の方の健康問題やどのような病気で困っている方がいるかなど、病気別の勉強会や相談会を開催しているところです。人が代わったらしないということではなく、その時々で市民の方の健康の問題にどのような課題があるかを考えながら行っています。今後も同じように協議検討してまいりたいと思っています。

宇佐市長あいさつ

石油化合物の怖さのご指摘がありました。日本の今の防腐剤の基準が先進国の国際標準と比べてどの程度なのかよくわかっていません。東京オリンピックが2020年にありますが、その時に諸外国のアスリートに提供する食事がGAPにのっていないと提供できないと指摘がされています。日本の農作物の農薬の基準は諸外国の基準より甘いと言われていました。私たちは日本はそのような基準が厳しく、どこより安全安心な農作物を食べていたと思っていましたが、そうでもなかったというのが最近わかりました。農作物を輸出するときにアメリカや香港などでは禁止されているのに、日本では使っているといっているので輸出できないとの指摘を受けているのです。今の基準が本当に適切なのかという所を国にも言わなくてははいけないし、グローバル化した中での取り組みでよその基準の一番厳しいところ近づいて行かなくてははいけないと思います。

グリーンベルトの設置や白線が薄い件については現地を確認して対応していきたいと思っています。12月議会の中で白線を引こうと1千万円くらい追加していますので、議会で認めていただければ対応できますので相談させていただきたいと思っています。

携帯のアプリについてはいい提案だと思いますので、持ち帰って検討させていただいた

いと思います。

野良猫については先般議会で野良猫被害について対応策がないか質問があったところで、動物愛護法の観点から、殺処分に繋がる対応は取りずらくなっている、個体自体を増やさない対策が近年求められているのかなと思っています。先進地の自治体の調査をしながら検討していきたいと思っています。